

せたな町総合計画策定審議会「第3回生活環境専門部会」顛末書

- 1 日 時 平成19年11月9日(金) 午後1時30分～午後3時25分
- 2 場 所 せたな町役場第1委員会室
- 3 出席委員 9名
佐久間治男部会長、福田東洋司副部会長、佐藤祐二委員、石川文枝委員、稲船弘委員、濱口幸登委員、熊野主税委員、三宮武委員、菅原克博委員
- 4 欠席委員 1名
武山正悦委員
- 5 せたな町出席者
道高副町長、小林瀬棚総合支所長、碓谷総務課長、井口町民児童課長、石田建設水道課長、原田大成総合支所総務税務課長、新保瀬棚総合支所総務税務課長、市村瀬棚総合支所産業建設課長、松本せたな消防署長、藤谷せたな消防署大成支署長、三浦せたな消防署瀬棚支署長(事務局) 成田政策調整課長、福土課長補佐、白戸主事

6 会議の概要

(1) 総合計画原案の確認

■原案修正箇所

＜基本構想＞

8P 将来像のサブテーマの中で、「暮らす」を「暮らせる」に修正。

※各委員からの主なご意見と回答

＜基本構想＞

Q 基本理念に「安心」とあるが、「安全・安心」とした方がいいのでは。

A よく「安全・安心」と使われることが多いが、場合によっては正反対の意味を持つこともある。この場合の考え方は、すべての面で「安心」と思えることが、笑顔のもとゆとりをもってまちづくりができるという願いを込めている。

Q 人口想定は9,000人の根拠は。

A 人口推計は8,600人だが、計画に沿ったまちづくりをすることにより9,000人を目標とする、目標数値として位置づけている。

＜基本計画＞

Q 水道料金の統一とあるが、どのように考えているのか。

A 平成20年度を目処に考えておりますが、現在、従量制度、定額制度で料金を設定しているため、この制度を統一しなければならないと考えている。

Q 消防の関係で、大成区の消防職員が不足していると聞か。

A 職員数は定数を満たしていない。現在は、旧町体制で運営しているが、今後は体制の見直し、再編について協議しなければならないと考えている。

Q 「地域での連帯意識の希薄化」とあるが、そうは感じないが。

A 地域によって異なると思うが、住民懇談会でも一部隣近所の繋がりが薄くなっているという意見もあった。

Q 地上デジタル放送への対応について、共同受信施設の設備充実を図る旨を記載してはどうか。

A 現在の情報では、NHK は大成区の難視聴世帯はないと予想されているが、北檜山区で 100 世帯、瀬棚区で 60 世帯と予想されている。各区の共同受信施設は NHK が改修すると聞いている。

デジタル化は、実際に開局してみないと解らないという説明があった。町に対しては難視聴地域の報告協力の要請もある。施設の改修は、基本的に通信事業者が行う。特定の難視聴については、当面は衛星放送でカバーすることで進んでいる。

7 今後の作業

本日の原案修正をもって総合計画案とし、次回審議会で修正内容の確認をし、会長より町長に対し答申することとしております。

■第 3 回審議会 11 月 26 日(月) 午前 10 時 健康センター
(別途ご案内いたします。)

※実施計画の策定について

平成 20 年度から 3 か年の実施計画については、より確実性のあるものとするため、平成 20 年度予算編成作業に合わせて策定することとしております。

基本的な考え方は、継続すべき事業を中心に掲載することとし、新規事業は関係機関などと調整が整っているもののみ掲載いたします。

また、掲載された事業であっても、逐次状況を見ながら実施するとともに、掲載されていない事業についても、緊急性を総合的に判断し実施することとしております。

策定期間は、2 月ころを予定していますので、委員の皆さんへは印刷された計画書と一緒に 3 月に送付いたします。